

仏壇からの火事が増えています！

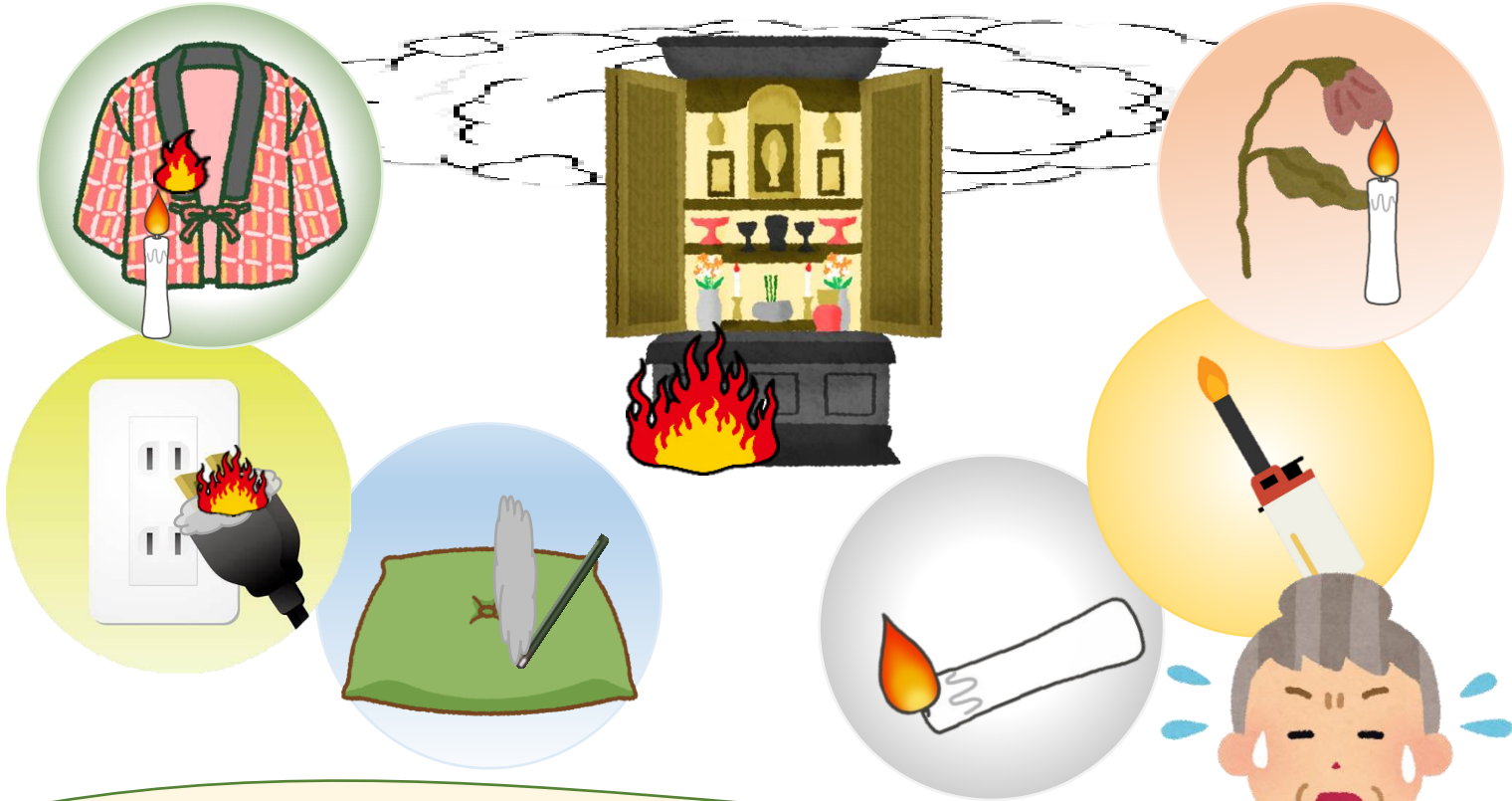
先祖を敬う日本の文化は素晴らしいですが、仏壇付近の火災が増加しています。仏壇付近で火災が起こる原因は様々ですが、下記の項目に注意して下さい。

《原因》

- 衣服への着火
ろうそくの火が衣服に触れて燃え上がり火傷する。
- ろうそくの転倒
変形した台、割れたもの、ペット、落下物などで落下する。
- 献花の枯れ落ち
暑い季節、炎の熱、立ち枯れなどでろうそくの炎に接触する。
- 線香の落下
変形した台、立て方などで線香が燃えやすい物に落下する。
- ライターの残り火
古いライターなどで、手を放しても火が消えない状況。
- 電灯プラグの不具合
長期間さしたままのプラグに湿気と埃で火事になる。

《対策》

- ろうそくの火が着いているときは衣服などを近づけない。
- 割れたろうそくを使わない。ろうそく台をまっすぐに置く。
- 献花等を長い期間放置しない。
- 線香立ての灰の処理、風の吹き込みなどに注意する。
- 使用後は、火が消えたのを必ず確認する。
- プラグ周りの掃除、半年に1回は抜き差しして確認する。



火の取り扱いに注意して

大切な人、大切な物を

火事から守りましょう